



第1191号
2011年1月16日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 英 久子

WEB:http://www.nskk.org/tokyo/index.htm E-MAIL:comm.tko@nsk.org
Phone:03-3433-0987, Fax:03-3433-8678 Diocese Office

主の御顕現の喜びと新年のご挨拶を皆様
に申し上げます。
顕現日の聖書朗読には、異邦人でありながら最初に主イエスを礼拝した東方の学者たちが登場します。マギと呼ばれる彼らはその特別な知恵で天の星のしるしを読み解き、いっどこに到着するかわからない旅に出ます。先導は星ですから、夜にしかその足を進めることができなかつたでしょう。危険で不安な旅です。それでも彼らはただ星の導きを信じ、天を仰いで方角を確認しつつ闇の中を進みます。
この旅は、自分たちが培ってきた知恵や経験を象徴する三つの宝を献げるための旅です。自分たちのために何かを獲得するのではなく、すでに得たものを手放すための旅です。しかも手放すお方も旅

《新年メッセージ》

天を仰ぎ、星を信じ

の最後にならなければ分かりません。それでも大切な品々を携え、まことの世の光に向かって進みます。
2度の教区会を経て、東京教区に新しい主教をお迎えする喜びの時を皆様と一緒に迎えようとしております。一方で新しいことへの突入は、行き先不明な闇の中の旅に出かけるようなものです。変化による不安定さを解消するため、自らの力で必死に抗おうとしたくなります。
しかし顕現の物語は、天を仰いで神に向くこと、その天に輝く星の導きを信じることで、そして手放して委ねることの重要性を告げているように思えます。旅に立出て天を仰げば、必ずや主が行き先を示してください、まことの喜びへとわたしたちを導いてくださることでしょう。
(東京教区常置委員長)

- ◇1月の代禱・信施奉獻先
▽主教座聖堂の働きのため▽エールサレム教区の働きのため▽視覚聴覚障害者伝道のため▽聖教主福祉会(深川愛の園・まこと保育園・善福寺愛の園)のため▽タイチエンマイのHIV/AIDSの方々・難民・移民の自立支援のため
◆教役者レクイエム
1月19日(水) 10時半
主教座聖堂
説教 木下量熙司祭
▽司祭森堯道▽司祭前島潔▽主教ケネス・アボット・ヴァイアル▽司祭小島茂雄▽司祭竹田真二▽司祭福島五郎▽司祭細貝岩夫▽司祭柳原光▽司祭レイモンド・ハンマー▽司祭横地諫▽主教黒瀬保郎▽司祭佐藤裕

今週・来週の予定
1月16日~29日

16(日)	顕現後第2主日 山手G教会協議会 外濠G教会協議会	12月17日	草光	12月10日	深田 淳夫(88)
17(月)	分担金制度特別委員会 宣教協議準備委員会	12月17日	浅見 才(88)	12月13日	小林 翠(94)
18(火)	礼拝音楽委員会	12月17日	和成(74)	12月13日	高明(79)
19(水)	教役者レクイエム協議会	12月17日	三光	12月13日	八王子 聖マリア(89)
20(木)	城南G牧師協議会 下町G牧師協議会 信仰と生活委員会	12月17日	三光	12月13日	小金井 小金井(88)
21(金)	山手G牧師協議会	12月17日	三光	12月13日	聖マリア 聖マリア(94)
22(土)	正義と平和協議会	12月17日	三光	12月13日	八王子 聖マリア(89)
23(日)	顕現後第3主日 主教巡回・牧師任命式 目白聖公会協議会 城南G教会協議会 環状G教会協議会	12月17日	三光	12月13日	八王子 聖マリア(89)
24(月)	ハラズメン防衛委員会	12月17日	三光	12月13日	八王子 聖マリア(89)
25(火)	銀座朝拝会 委員長連絡会	12月17日	三光	12月13日	八王子 聖マリア(89)
27(木)	財政委員会	12月17日	三光	12月13日	八王子 聖マリア(89)

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

◇委員長人事

横倉正義 財政委員会委員長長解任(10年12月6日付)

後藤 務 財政委員会委員長委嘱(10年12月7日付、任期・11年12月31日)

信仰と生活委員会報告

(12月15日)

*宣教主事報告、各委員会・教会グループ等の報告。

*ブックレット『裸足の宣教師日本聖公会宣教150周年記念礼拝(2009年9月23日)カンタベリー大主教説教からの学び』出版と配布、及び今後の計画について協議。各教会の判断に委ねるが1冊百円程度を教会に献金としても可。

*「こども聖歌集」編纂に向け

て協議。

*11年度他の委員会との協働プログラム実施の可能性を協議。

正義と平和協議会

運営委員会報告(12月21日)

*2012年宣教協議会準備会について情報を共有。2011年10月に管区主催で「聖公会平和協議会in沖繩」を開催予定。

*1月22日開催の正義と平和協議会につき内容、詳細を協議し決定。

*「正義と平和協議会便り」16号を協議会開催日に発行するため原稿を確認。

◇主教按手式のための募金 2月11日(土)香蘭女学校で行われる主教按手式のための募金が、管理主教廣田勝一主教・常置委員長笹森田鶴司祭から呼び

かけされている。新主教の祭

服、ペクトラルクロス、指輪などの購入費用と主教按手式・教区主教就任式実施の必要経費のため。期間は11年3月末日まで。教会・団体・個人いずれも可。金額は任意。送金方法は郵便局利用・銀行利用の詳細が各教会・礼拝堂へ案内されている。照会は教区事務所へ。

▽正義と平和協議会 1月22日(土)14時から教区会館3階。

講演会「裏切られ続けている沖繩」講師Ⅱ谷昌二沖繩教区主教。沖繩が直面する問題を現場から。参加費500円。講演会後、協議会「貧困問題を考えるプロジェクト」報告(報告者Ⅱ李民洙司祭)、および協議会運営委員(4名)を選出。

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

【クローズアップ】73

BSA第87総会に際して

昨年12月4日、日本聖徒アンデレ同胞会第87総会が旗の台三光教会で行われました。総会に先立ち感謝礼拝、聖餐式、入会式、再宣誓式が、名譽チャプレン武藤主教はじめ、本部チャプレン高橋宏幸司祭、同下条裕章司祭、同鈴木裕三司祭、三光教会中川英樹司祭、そして三光教会サーバー団に導かれて新装なった聖堂で約70名の参列者と厳肅な感激の時間を共に持つことが出来ました。当日は6名の方が入会式に出席、また全国で聖アンデレ日の前後に20名の方が入会、賛助会員も2名加わりました。

BSAの基本理念「祈禱と奉

仕」を思い起こすとき、関東大

震災の数年後、米国聖公会の1伝道師として来日し、のち立教大学の教授となったポール・ラッシュ博士を改めて想います。

昭和2年、博士はBSAを日本聖公会の青年運動団体として、米国BSAの日本支部として発足させました。BSAはその目的の項に、男子とくに男子青少年の間にキリストの御国を拡張するために祈り、奉仕することとあります。昭和6年に米国組織から独立して「日本聖徒アンデレ同胞会」が発足し、この年

に早稲田大学大隈講堂に於いて慶応義塾大学、明治大学、立教大学などによるBSA大集会が開催されています。終戦後もBSA活動はポール・ラッシュ博

士の指導のもと、日本聖公会と共に歩みました。清里の清泉寮、「清里農村センター」はBSAの大きな社会活動事業でした。

(昭和31年に財団法人キープ協会を設立、社会活動事業はキープ協会、宣教活動はBSAと業務の仕分けを実施)。ポール博士が昇天され約30年経た今日、BSAは彼が指導された活動のうち、日本聖公会の伝道宣教活動部門をしつかりと守り、育てていかなければなりません。「祈禱と奉仕」「一人が一人を」です。

BSAが年4回発行し、各教会へお送りしている「VISION」をご観くださり、どなたでもどうぞご参加ください。

社団法人日本聖徒アンデレ同胞会
会長 砂田郁郎